

発議案第1号

新型コロナウイルス感染症対策に関する決議について

上記の発議案を別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和3年2月19日

八千代市議会議長 大塚裕介 様

提出者	八千代市議会議員	林	利彦
賛成者	八千代市議会議員	林	隆文
	同	木下	映実
	同	伊原	忠
	同	塚本	路明
	同	山口	勇
	同	菅野	文男
	同	三田	登

## 提案理由

本市の実情に応じた新型コロナウイルス感染症対策を早急に実施することを強く求める。

これが、本案を提出する理由である。

## 新型コロナウイルス感染症対策に関する決議

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言が、千葉県を含む10都府県で延長され、本市においても感染者数が急増し、900人を超える状況となっている。

感染者数の急増に伴い、入院者数や重症者数が増加し、対応を続けている医療機関の病床がひっ迫し始めており、対応に必要な人員と病床の更なる確保が必要となっている。

また、一方で2月中には医療関係者を対象とした新型コロナウイルスワクチンの接種が始まり、高齢者、基礎疾患を有する者、その他の全国民へと順次進められる予定となっているが、異例なことであるため、実施に当たり混乱が懸念される場所である。

このような中で最も重要なことは、国・県の新型コロナウイルス感染症対策と合わせ、本市の実情に応じたきめ細かい独自の支援策を遅滞なく実施するとともに、市民への周知を徹底することである。

よって、本市において、下記の事項を早急を実施するよう強く求めるものである。

### 記

- 1 有効な対策として期待されるワクチン接種を早期、円滑に実施するため、全庁的な体制づくりとともに、シミュレーションを行うなど確実な接種体制を確立し、混乱を来さないようスケジュール等の市民への十分な周知を行うこと。
- 2 県、保健所と連絡を密にしながら、八千代市医師会、八千代医療センター等と連携し、入院待機者の解消に努めること。
- 3 コロナ禍の過酷な状況下で医療体制を支えている医療従事者が安心して医療に従事できるよう、処遇の改善を図ること。
- 4 自宅療養者に対し、重症化の兆しを把握するため、県、保健所と連携し、血中酸素飽和度が測定できるパルスオキシメーターの貸与等を推進すること。
- 5 新型コロナウイルス感染症対策について国・県との連携を強化するとともに、その費用負担等について国・県に更なる財政支援を求めること。

以上、決議する。

令和3年2月19日

八千代市議会